

# 仕様書

IoT 推進部

## 1. 件名

IoT 社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティの社会実装促進に関する調査

## 2. 目的

「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／IoT 社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ」（以下「本プロジェクト」という。）においては、セキュアな Society 5.0 の実現に向け、様々な IoT 機器を守り、社会全体の安全・安心を確立し、IoT システム・サービス及び中小企業を含む大規模サプライチェーン全体を守ることを可能にする『サイバー・フィジカル・セキュリティ対策基盤』の開発と実証に取り組んでいる。

本調査では、「IoT 社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ」における本研究開発成果の社会実装に向けた取組みの促進に関する調査を行う。また、本研究開発成果が提供する価値と、本研究開発成果を必要とするサプライチェーンを担う各ステークホルダーについて整理し、本プロジェクト内での議論を通して社会実装に必要な体制を継続的に維持する仕組みについて検討・共有をすることを目的とする。

## 3. 内容

以下の各調査内容を、本プロジェクトが進める「社会実装ワーキンググループ（以下、WG）」で議論し、その結果を踏まえて改善すること。議論の過程で要請された事項に関する調査を実施し、効果的かつ絞り込んだ議論を行えるようにすること。調査の実施にあたっては、本プロジェクトの研究開発テーマ単位で実施している社会実装計画、プロジェクト全体で実施している成果普及 WG・実証評価 WG についても情報収集した上で行うこと。また、本プロジェクトのプログラムディレクター（以下、PD）／サブプログラムディレクター（以下、SPD）／イノベーション戦略コーディネーター（以下、戦略 C）が戦略検討・情報共有・意見交換を行う場を用意すること。また適時 PD／SPD／戦略 C に相談し、指示を仰ぐこと。

### （1）社会実装に向けた取組の促進に関する調査

本プロジェクトの社会実装を加速的に進めるための課題を、規制・制度改革、国際連携など多角的・包括的に検討し、実行可能なシナリオとして提案すること。

### （2）プロジェクトの提供する価値に関する調査

- ① 社会実装の加速に向けて、本プロジェクトが提供する価値をわかりやすく整理すること。
- ② 本プロジェクトの成果を利活用する、ユーザーをはじめとするステークホルダーを明らかにし、ステークホルダーが本成果を導入するための課題・要望について対策できる、具体的な課題として明らかにすること。

### （3）社会実装に必要な体制の構築と、その継続的な維持を行う仕組みの調査

- ① 社会実装に必要な体制を明らかにし、その構築のあり方について調査すること。
- ② 社会実装に必要な体制を継続的に維持する仕組みについて、検討すること。

### （4）WG 運営業務

社会実装 WG 開催、日程調整、議事録の作成など、WG の事務局及び運営全般を行うこと。また、運営

に係る費用全般の支払いを行うこと。

また、関連資料の立案・作成を、本プロジェクトのPD/SPD/戦略C、NEDO及び本プロジェクト関係者と協議の上行うこと。資料作成にあたっては、本プロジェクトについての知見の有無にかかわらず多くの方に理解できるよう努めること。

#### (5) その他

NEDOからの要請があった場合は、協議の上、可能な限り反映すること。当該調査の実施により知り得た個人情報、当該調査のためだけに利用することとし、調査終了後は速やかに情報を破棄すること。

#### 4. 調査期間

NEDOが指定する日から2022年3月18日（金）まで

#### 5. 報告書

提出期限：調査報告書 2022年3月18日（金）

提出方法：NEDOプロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

#### 6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上